

第13回 災害時医療救護訓練 10.27(土)

今回の災害時医療救護訓練は、荒川区と合同。第四峡田小学校で一時トリアージ、当院で二次トリアージ・黄色(中等症群)に分類された人の搬送受入・連絡通信・治療訓練を行いました。いつもは院内で行なっている訓練を地域の方々と一緒に行いました。



第四峡田小学校に集合



搬送連絡の通信訓練をしています



中等症で搬送された方の二次トリアージ



リヤカーで搬送されてきました

皆様、お疲れ様でした。また、次回もよろしく!

お知らせ

インフルエンザの予防接種の時期になりました。高齢の方は肺炎球菌ワクチンとの同時接種が効果的との研究結果もあります。

ご希望の方は受付へお申し出ください。



第8回 医療フォーラム 避けては通れない「終末期医療」を普通に考える

「終末期」とは高齢になって病を抱え、死をどう迎えるかを考えることではありません。あなたやあなたの肉親に突然起こることで、高齢者の問題だけではないからです。「終末期」で求められる様々な決断はとても難しい場合があります。十分な知識がなかったり、患者と医療側の認識の相違で、治療や介護に多くの問題が起こっています。「終末期」の正しい判断や、しっかりした考え方を身につけ、自分にあった医療を受けるためにみんなで考えてみませんか?

日時：2018年12月1日(土) 14:00 ~ 16:30

主催：医療グループあすか

会場：木村病院地下患者食堂

参加費：1000円

フォーラム終了後に懇親会を催します。参加ご希望の方は別途4000円が必要です。

お問合せ先 電話 090-9296-3063 (坂本) 090-8200-0762 (村井)

ほっとニュース

発行：社会医療法人 一成会 木村病院 / 企画広報室

社会医療法人 一成会 理念



第60回 全日本病院学会 in 東京

社会医療法人 一成会 理事長・院長 木村 厚



全日本病院協会は、民間病院を主体とした全国組織で昭和35(1960)年に設立され、全国の病院のうち4分の1の約2500の病院が加入しています。少子高齢社会、格差社会のなかで私たちに必要とされる医療とは何なのか追求し、医療の質の向上を目指している団体です。

全日本病院協会主催の全日本病院学会がグランドニッコー東京台場で10月6日(土)、7日(日)に開催され、3200名を超える参加者となりました。毎年、日本各地で開催していますが、10年ごとに東京で開催されています。

木村病院も全日本病院協会に入会し、学会では様々な分野で発表しています。今回は、私が副学会長を務め、当法人から、演題発表9題、4題の座長、1題のシンポジスト、53人の職員が参加して学びました。次ページからはその様子の特集しています。当法人では毎年、5月に各部署の研究発表会を行い、その中から全日病学会と東京都病学会に発表する演題を選んでいます。皆さんもご存知の通り、医療はどんどん進んで変化しています。「今日の常識、

明日の非常識」と言われるぐらいの勢いで変わっていますが、それと同じくらい制度も変わっています。医療提供側の私たちは、最新の情報を貪欲に学び、吸収して変化し続けなければ、質の高い医療・看護・介護を皆さんに提供することができません。

私も病院機能評価の座長として、そして事務部長の福井は診療報酬をテーマにシンポジストとして参加しました。当法人は、大きな病院や、たくさんの施設を運営している訳ではありませんが、荒川区で地域の皆さんに最善で最適な医療・看護・介護を提供するために、様々な機会を通して、日々勉強し続けています。

また、国がこれからの高齢社会を安心して過ごせるように提唱している「地域包括ケアシステム」は、地域の皆さんの積極的な参加の上で成り立つシステムです。当法人では、「医療グループあすか」に協力し、年に3~4回開催している「市民医療フォーラム」に会場を提供しています。私もできるだけ参加して、普段は聞けない本音を患者さんとしてではない方々から直接伺い、私からも発言させていただいて相互理解の勉強になっています。もう一つ行なっている「プリーマの会」は月に一度程度開催して、地域で色々な活動をしている方たちと沢山の意見交換をしています。10月30日には私から当院の入院時80歳以上の方・重症の方に向う「緊急時・重症時の対応」について説明しました。ご参加希望の方は、受付にお問い合わせください。

9題の発表、4題の座長、1題のシンポジスト

第60回 全日本病院学会 in 東京

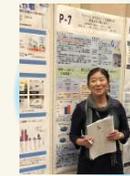
2018年10月6日・7日



「当院リハ科の認知症患者への対応」
理学療法士 坂下 佳那
認知症の患者さんの尊厳を守る為、私達も
学びながら適切な対応を実践しています。



「適切なオムツ・パットのあて方に取り組んで」
介護福祉士 和田 光市
デリケートな問題であるオムツ。患者さんの負担が
少なくなるよう方法を研究・実践しています。



ポスター発表
「看護」座長
地域サービス事業部
副事業部長
菅谷 真理



「大腸がん早期発見の働きかけ」
外来看護師 古川 千尋
荒川区特定健診の便渾血検査で陽性
となった方が早期のうちに治療開始
となるように工夫しています。



「栄養療法の普及に向けて」
管理栄養士 栄養科科長
後藤 奈津穂
腸内細菌中の善玉菌を増やし、免疫力を
高める栄養療法が注目されています。
市販の乳酸菌・ビフィズス菌入り飲料を
継続的に摂取することをお勧めします。



「患者が望む退院先とそれを困難にする様々な課題
～MSWの退院支援における課題整理の必要性～」
MSW(医療相談員) 白坂 拓也
患者さんによっては、希望される退院先へ行くことが困難な場
合があります。その要因を一つずつ解決する必要があります。
まるで、それは、その方の人生の振り返りを一緒に行なっている
かのようです。



「終末期における在宅での看取り
～”最後まで自分らしく”を支える意思決定支援の事例～」
訪問看護師 柄澤 典子
在宅で看取りを希望する方が増えています。私達訪問看護師が、そ
の方々の意思を尊重しながら、最後の時を少しでもその人らしく過
ごしていただけるようお手伝いしています。



病院機能評価委員会
「成熟した社会が病院機能評価に求めるもの」
座長 木村病院理事長・院長 木村 厚
当院は、医療機能評価を更新し続けて20年、継続して認
定を受けています。成熟した社会は、今まで以上に良い
ものを求めていると考えています。



医療保険・診療報酬委員会
「平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定」
シンポジスト 事務部長 福井 聡
診療報酬は2年に一度、介護報酬は3年に一度の
改定ですが、今年は同時に改定のあった年でした。
皆様に分かりやすい制度のご説明ができるよう、皆
で学びを継続しています。



「早期離床に向けた取り組み
～ベッドアップのすすめ～」
病棟看護師 藤田 絵理依
なるべく早く、上体を起こすことが療
養期間の短縮につながります。早く良
くなっていただけるように一同努力し
ています。



「排便スケール作成の取り組み」
病棟看護師 梁本 智子
排便は入院患者さんの状態を把握する為
に大切な情報です。皆が統一された感覚
で情報交換する必要があります。より良い
看護を提供できるようにしています。



「医薬品安全管理の取り組みと情報共有の検討」
薬剤師 北野 妙子
医薬品の取り扱いは薬剤師のみならず、医師や看護師との
情報の共有や、連携が必要です。学習会や電子カルテを利
用して、より安全に業務が行えるように働きかけています。



ポスター発表「放射線」
座長 放射線科科長
仁藤 正



一般演題 「看護」
座長 外来看護師長
尾城 昌子